

機械器具 35 医療用はさみ  
一般医療機器 はさみ (JMDN 35325001)

## 子宮細切剪刀シリーズ TOKONAME & KANEUJI

### 【警告】

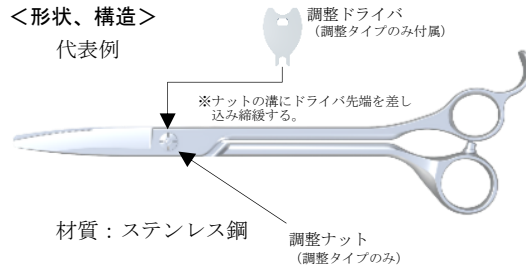
#### <使用方法>

- ・ クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) の患者、又はその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、最新の国内規制、ガイドラインを遵守すること。[感染予防のため]

### 【形状・構造及び原理等】

#### <形状、構造>

代表例



#### <原理>

回転軸のある2枚の刃（通常、ハンドルに親指と他の指用の穴がある）からなり、切断する材料の上で2枚の刃を閉じる構造を持つ。

### 【使用目的又は効果】

手術や外科的治療において、臓器・組織、布、縫合糸等の切開・切除及び切離を目的として使用する。

### 【使用方法等】

#### 1. 使用前の確認

本製品は、未滅菌で供給されるため、必ず適切な方法で滅菌してから使用して下さい。また刃先が非常に鋭利です。十分に注意して下さい。

#### 2. 操作方法・使用方法

通法に従い操作します。

#### 3. 使用後の処置

使用後は、感染の防止、錆防止のための洗浄、滅菌処理（高圧蒸気滅菌、EOG 滅菌）して下さい。

### 【使用上の注意】

#### 1. 重要な基本的注意

- (1) 患者ごとに【保守・点検に係る事項】に記載する方法及び条件で、速やかに滅菌前の洗浄・注油・滅菌を行い、使用すること。
- (2) 本品を用いた処置により発疹、皮膚炎などの過敏症状又はアレルギー症状が現れた患者には、使用を中止し医師の診断を受けさせること。
- (3) 破折等の恐れがあるので、以下は行わないこと。
  - ① 本品に対する曲げ・切削・加圧・分解（調整タイプのみ、調整ナットを反時計回りに回転させ続けると分解する事が可能だが、決して分解しない事。万が一分解した場合には滅菌処理した上、部品欠損無き状態にて製造販売業者へ送付する事。）等。粗雑な扱い。（キズをつける・落下させる・強い衝撃を与える等）
  - ② 空切り（何も切らないで開閉する事。）を避ける事。（カジリの原因となる。）
  - ④ 調整ナットの過度な締込み。（カジリの原因となる。 ※調整タイプのみ。）
- (4) 薬液等が付着した場合、腐食する恐れがあるので速やかに清拭すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### <貯蔵・保管方法>

- (1) 高温、多湿、直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔で換気の良い場所で保管してください。
- (2) 金属電位差を要因としたガルバニック腐食を防ぐ為、材質の異なる器具と一緒に保管しないこと。
- (3) 「もらいさび」を防ぐ為、以下のことに注意すること。
  - ① 錆びている器具と一緒に保管しない。
  - ② 化学薬品と一緒に保管しない。
  - ③ 滅菌器、保管庫等の内部に発生する錆びに注意する。
- (4) 変形の原因となるので、トレー・コンテナによる移動及び保管は丁寧に行うこと。なお、トレーやコンテナを使用する際は重い器具を載せないこと。

### 【保守・点検に係る事項】

#### (洗浄・注油・滅菌の方法)

1. 血液・体液・組織片、薬品等により汚染した器具は、汚染物質が乾いて固着する事を防ぐ為、使用後直ちに以下の手順にて洗浄・滅菌を行うこと。汚染物質を付着したままにしておくと、除去しにくくなることもある。
  - ① 関節部を開く。（一般的な「はさみ」と比較すると、本製品の刃先は非常に鋭利です。十分に注意して下さい。）
  - ② 超音波洗浄装置・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置を用いて洗浄する。
  - ③ 洗浄後はすぐに乾燥する。
  - ④ 関節部に防錆潤滑油を塗布する。
  - ⑤ オートクレーブ滅菌器を用い滅菌する。
2. 他器具との接触による損傷を防ぐ為、滅菌バッグ、ケース等に入れる事を推奨する。
3. オートクレーブ滅菌器は使用状況・期間等により、庫内に汚れが付着する場合がある。汚れを除去しないままオートクレーブ滅菌を行った場合、器具へ汚れが付着する恐れがある。庫内が汚れた状態にならないよう、滅菌器の添付文書又は、取扱説明書に従い、定期的な清掃を奨励する。特に、チャンバー蓋パッキンやエアフィルターは定期的な交換が必要となる場合がある。

#### (洗浄・滅菌上の注意)

1. 強アルカリ/強酸性洗剤は、器具を腐食させるおそれがあるため、使用しないこと。誤ってこれらが付着したときには、直ちに水洗いをする。超音波洗浄装置での使用する洗剤は、ネオアルベス WE 等、ウォッシャー・ディスインフェクターで使用する洗剤はネオアルベス WA 等の弱アルカリ洗剤を使用すること。また、金属たわしやクレンザー（磨き粉）等は器具の表面を傷つけるため、使用しないこと。
2. 洗浄及び滅菌に使用する水は、蒸留水や完全脱イオン水 (RO 水) をご使用ください。水道水中に含まれる残留塩素及び有機物質が、シミや錆発生の原因となります。
3. アルコール等の薬剤を用いるオートクレーブ滅菌は、金属を腐食させるので行わないこと。
4. プラズマ滅菌は、素材に影響を及ぼすので行わないこと。
5. 推奨オートクレーブ滅菌条件  
※低温での処理を推奨する。

滅菌温度	保持時間
115-118℃	30分
121-124℃	20分
126-129℃	10分
134℃	4分

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：足立工業株式会社  
電話番号：0575-22-0052

製造業者：足立工業株式会社